

<b>Title</b>	『市大日本史』総目次(第1号~第25号)
<b>Citation</b>	市大日本史. 25 卷, p.175-186.
<b>Issue Date</b>	2022-05
<b>ISSN</b>	1348-4508
<b>Type</b>	Others
<b>Textversion</b>	Publisher
<b>Publisher</b>	大阪市立大学日本史学会
<b>Description</b>	

Placed on: Osaka City University

# 『市大日本史』総目次(第1号〜第25号)

## 第1号(98年5月)

大阪市立大学日本史学会の設立にあたって  
『市大日本史』の発刊にあたって  
和泉市小田町地域調査報告

広川 禎秀  
栄原 永遠男

1  
2

### I 小田町関係史料

II 髭家史料 — 大阪市立大学・和泉市合同調査 —

### III 解説

小田町調査と小田町関係史料によせて

塚田 孝

175

小田の座について

町田 哲

182

小田町共有文書について

森下 徹

202

史料編

史料データ

217

史料データ

287

## 彙報

日本史研究室関係者業績一覧

298

一九九六・七年度 博士論文・修士論文・卒業論文一覧

316

## 第2号(99年5月)

## 論文

飛鳥浄御原令と大宝令 — 官制を中心として —

直木 孝次郎

1

歴史学の方法をめぐる断想

塚田 孝

16

— アメリカでの経験にふれて —

渡辺 祥子

30

葉種中買仲間の機構について

村井 良介

53

芸備国衆家臣団一覧表

大阪府和泉市松尾寺地域合同調査報告

大阪市立大学日本史研究室

105

## 書評

仁木宏著『空間・公・共同体 — 中世都市から近世都市へ —』塚田 孝

170

山陰加春夫著『中世高野山史の研究』

金 泰 虎

173

## 彙報

日本史研究室だより

178

日本史研究室関係者業績一覧

182

一九九八年度 博士論文・修士論文・卒業論文一覧

189

## 第3号(00年5月)

## 論文

恒藤恭の「世界民」の思想

広川 禎秀

1

名代日下部の成立と展開

鷺森 浩幸

20

五月一日経における別生・疑偽・録外経の書写について

山下 有美

44

国譲り神話の解釈について

下 鶴 隆

74

— 口誦句分析からみた令前のオホミヤ —

## 書評

酒井紀美著『日本中世の在地社会』

西村 幸信

169

大阪府和泉市福瀬町地域合同調査報告

大阪市立大学日本史研究室

100

## 彙報

日本史研究室だより

175

日本史研究室関係者業績一覧

179

一九九九年 博士論文・修士論文・卒業論文一覧

187

第4号(01年5月)

## 論文

天平宝字二年の『金剛般若経』書写

山本 幸男

1

— 入唐廻使と唐風政策の様相 —

## 書評

天寶字二年の『金剛般若経』書写

山本 幸男

1

豊臣期大坂城下町の歴史的位置 — 中近世移行期大坂研究の課題 —	仁木宏	21
近世畿内の在地代官と家・村 — 類型化の試み —	熊谷光子	34
研究ノート 魚梁船による物流と経営の構造	岡島永昌	67
史料紹介と解説 笠井家家法	中田有紀	91
調査報告 大阪市帝塚山古墳の測量調査	岸本直文・森オリ江・ 江角 啓・金谷健一・向田一成・奥村宏美	122
大阪府和泉市仏並町小川地域合同調査報告	合同調査実行委員会	146
書評 米原永遠男氏の古代史研究について	吉田 晶	169
山下有美著『正倉院文書と写経所の研究』	春名 宏昭	179
交流の広場 文化財行政の変化と新たな試み	安村 俊史	192
彙報 日本史研究室だより		201
日本史研究室関係者業績一覧		204
二〇〇〇年度 博士論文・修士論文・卒業論文一覧		214
<b>第5号 (02年5月)</b>		
論文 前方後円墳研究の課題	岸本 直文	1
申詞について	酒井 紀美	15
菊地謙一の戦時下抵抗	三輪 泰史	29
坂本新田の成立と構造	町田 哲	50
式内社の考証と顕彰 — 伴林氏神社の調査から —	遠藤 慶太	97
研究ノート 難波長柄豊崎宮と飛鳥浄御原宮 — 大極殿の成立をめぐって —	積山 洋	109
東阪本町合同調査報告		
合同調査の記録と成果の概要	合同調査実行委員会	120
和泉市坂本寺跡出土の軒瓦	岸本直文・田中大介・ 高志こころ・阿部 来・奥村宏美	157
書評 塚田孝・吉田伸之編『近世大坂の都市空間と社会構造』	井戸田 史子	182
塚田孝著『身分論から歴史学を考える』	大黒 俊二	191
日本史研究室の思い出 歴史学教室発足時の回想	直木 孝次郎	195
私にとつての大阪市立大学教室	河音 能平	201
交流の広場 今に問う教職の性格、顧みる戦後新制教育 — 二度目の五日制にざわめく高校現場から —	大森 実	204
歴史学と歴史教育 — 高校教師の立場から —	勝男 義行	211
彙報 日本史研究室だより		219
日本史研究室関係者業績一覧		222
二〇〇一年度 博士論文・修士論文・卒業論文一覧		233
総目次 (第1号〜第5号)		234
<b>第6号 (03年5月)</b>		
論文 天武天皇の複都制構想	米原 永遠男	1
中世荘園の荘務執行とその請負主体 — 院政期の沙汰人をめぐって —	高橋 一樹	13
近世初期有力農民の社会関係 — 近江国愛知郡下平流村山田庄兵衛家を素材に —	渡辺 恒一	29
今堀日吉神社文書の村掟とその署判	西村 幸信	47
明治維新期大阪の都市政策に関する一考察 — 『明治初年大阪西大組大年寄日記』を中心に —	中村 春樹	63
元明天皇讓位の意義 — 「不改常典」法を手がかりに —	中橋 玲子	87

中世後期地域権力論研究の視角	古野 貢	107
<b>和泉市黒石町合同調査報告</b>		
合同調査の記録と成果の概要	合同調査実行委員会	122
史料紹介・藤原(武久)家文書	日本史講読Ⅲグループ	159
書評		
河音能平著『大阪の中世前期』	天野 忠幸	179
<b>交流の広場</b>		
博物館行政の変化と今後	土橋 誠	183
編集者となって「大学時代」を振りかえる	大道 玲子	187
彙報		
日本史研究室だより		191
日本史研究室関係者業績一覧		194
二〇〇二年度 博士論文・修士論文・卒業論文一覧		205
<b>第7号(04年5)</b>		
論文		
仏並縄文集落の変遷	大野 薫	1
東西市における計量と度量衡制		
― 関市令14官私権衡条・15用称条に関する一考察 ―	大隈 亜希子	11
昭和戦前期の大阪における映画興行	高岡 裕之	24
六条八幡宮からみた室町期京都	大村 拓生	53
一九世紀三田尻六ヶ所塩田について	山下 聡一	76
貝塚寺内の成立過程についての一考察	上畑 治司	109
― 近世の由緒書を中心に ―		
<b>和泉市春木川町合同調査報告</b>		
合同調査の記録と成果の概要	合同調査実行委員会	132
山間の村の生活―春木川町の合同調査―		
二〇〇三年度日本史講読Ⅲ(塚田孝担当) 受講生有志		165
書評		
河音能平著『天神信仰の成立―日本における古代から中世への移行―』	竹居 明男	201
山本幸男著『写経所文書の基礎的研究』	黒田 洋子	207
『向陵記―恒藤恭 一高時代の日記―』		
― ビルドゥイングスロマンとしての『向陵記』 ―	古澤 夕起子	215
木村茂光編『雑穀―畑作農耕論の地平』	小倉 英樹	221
河音能平先生を偲ぶ	広川 植秀	225
<b>交流の広場</b>		
国立国会図書館で働いて	松山 未帆	229
彙報		
日本史研究室だより		233
日本史研究室関係者業績一覧		237
二〇〇三年度 博士論文・修士論文・卒業論文一覧		250
<b>第8号(05年5月)</b>		
論文		
与力時代の大塩平八郎と病気	相蘇 一弘	1
中世中後期の和泉国大津・府中地域	廣田 浩治	13
大嘗祭の発展過程―新嘗祭から踐祚大嘗祭への展開―	岩宮 隆司	38
文部大臣西園寺公望の文教政策	張 智慧	54
鉄二の規格性とその性格	森 オリ江	77
<b>和泉市国分町合同調査報告</b>		
和泉市国分町における総合調査	合同調査実行委員会	104
和泉国分寺跡と出土瓦	岸本直文・彦坂めぐみ・阪井田耕司	132
書評		
町田哲著『近世和泉の地域社会構造』	岩城 卓二	147
塚田孝編『大阪における都市の発展と構造』	河野 未央	158
高橋一樹著『中世荘園制と鎌倉幕府』	前田 徹	167
<b>交流の広場</b>		
史料はなぜあつまらないのか?		
― 経験から考えた日本史研究者の説明責任 ―	印藤 昭一	173
変わりゆく農村の景観		
― 鹿児島県曾於郡有明町の現状について ―	東 徹志	179
彙報		
日本史研究室だより		183



地域の手法と合同調査	町田 哲	7
和泉市史編さん事業と合同調査	森下 徹	13
上代町の調査と和泉の近世村落	三田 智子	20
<b>論文</b>		
経巻調査の意義―既多寺大智度論の事例―	竹本 晃	29
永享五年の「高野動乱」について	山陰 加春夫	43
近世大坂生玉神社における社家仲間	山下 聡一	57
<b>和泉市合同調査報告</b>		
和泉市池田下町泉財における総合調査	合同調査実行委員会	78
池田下地域の古代・中世 新谷和之・高津浩司・瀧道孝尚・前田学		119
門林啓三氏所蔵文書の油椀ぎ関係史料について	日本史講読Ⅲ(担当 塚田孝) 受講生・久角健二	140
遠藤慶太著『平安勅撰史書研究』	小倉 慈司	169
山陰加春夫著『中世寺院と「悪党」』	小倉 英樹	178
西村幸信著『中世・近世の村と地域社会』	池 亨	184
<b>交流の広場</b>		
大学講師になって二年間	張 智慧	192
バーコードを読んでいるだけではないんです	綾田 陽子	194
<b>彙報</b>		
日本史研究室だより		199
日本史研究室関係者業績一覧		204
二〇〇七年度 修士論文・卒業論文一覧		213
会務報告		214
<b>第12号 (09年5月)</b>		
<b>論文</b>		
日本古代の個別経営に関する諸問題	吉田 晶	1
―大室二年御野国戸籍を素材として―	肥後 弘幸	41
墓制から見た弥生時代の近畿北部		
室町幕府―守護体制下の分国支配構造	古野 貢	57
―細川京兆家分国丹波国を事例に―	坂本 祐里	86
平安時代中期の国家思想決定と権力構造		
<b>和泉市合同調査報告</b>		
和泉市池田町の四町会(中村・久保出・願成・山深)	合同調査実行委員会	118
における歴史的総合調査		
泉州池田下村山深の座と寺について―文政期の二つの争論から―	久角健二・日本史講読Ⅲ(担当 塚田孝) 受講生	159
<b>書評</b>		
古野貢著『中世後期細川家の権力構造』	小谷 利明	181
『和泉市の歴史? 松尾谷の歴史と松尾寺』	古市 晃	186
<b>交流の広場</b>		
日本留学とその後	マーク シュナイダー	194
大学史資料室の大学ミュージアム構想	田中 ひとみ	196
<b>彙報</b>		
日本史研究室だより		201
日本史研究室関係者業績一覧		208
二〇〇八年度 博士論文・修士論文・卒業論文一覧		219
会務報告		220
<b>第13号 (10年5月)</b>		
<b>講演</b>		
難波宮から藤原宮へ	中尾 芳治	1
―日本古代宮都の成立過程をめぐって―		
<b>論文</b>		
韓半島南部地域における初期造瓦技術の導入、普及とその背景	清水 昭博	18
―百済、新羅の初期造瓦技術と仏教―		
三好氏と戦国期の法華宗教団	天野 忠幸	33
―永祿の規約をめぐって―		
近世大坂の漁業と川魚流通	八木 滋	54
―西成郡漁師方五か村組合を中心に―		
戦国期六角氏の地域支配構造	新谷 和之	78
―地方寺社への関与を手掛かりに―		
近世泉州泉郡平野部における水利と生産	齊藤 紘子	114
―池上村の稲・綿輪作を素材として―		

<b>和泉市合同調査報告</b>		<b>合同調査実行委員会</b>	
和泉市納花町における総合調査	大久保光機・川名俊・白井翔太郎	137	
納花村および周辺の開発史	谷口 拓・西岡侑子・湯峯 愛	171	
泉州納花村における村落生活の側面―森医院所蔵史料の検討から―	久角健二 日本史講読Ⅲ(担当 塚田孝) 受講生	192	
<b>書評</b>			
安村俊史著『群集墳と終末期古墳の研究』	関本 優美子	216	
古市晃著『日本古代王権の支配論理』	仁藤 敦史	224	
佐賀朝著『近代大阪の都市社会構造』	島田 克彦	236	
広川禎秀編『近代大阪の地域と社会変動』	藤井 正太	246	
<b>交流の広場</b>			
大阪市立大学でのサバティカル研修	後藤 雅知	257	
「編集事務」という仕事	矢野 治世美	261	
<b>彙報</b>			
日本史研究室だより		264	
近藤義郎先生蔵書の大阪市大への寄贈		272	
日本史研究室関係者業績一覧		274	
二〇〇九年度 博士論文・修士論文・卒業論文一覧		285	
会務報告		286	
<b>第14号 (11年5月)</b>			
<b>論文</b>			
近世身分社会の再把握	塚田 孝	1	
―19世紀・都市大坂の非人と町方―			
白山平泉寺旧境内の復元の試み	阿部 来	11	
―考古学と地籍図研究から―			
大阪湾岸新田地帯の近代	島田 克彦	33	
―尼崎沿岸部を中心に―			
律令良賤制下の奴婢の存在形態	小倉 道子	59	
―大宅朝臣可是麻呂の貢進奴婢を中心に―			
<b>和泉市合同調査報告</b>			
<b>和泉市富秋町における総合調査</b>		<b>合同調査実行委員会</b>	
明治〜大正期の奥野徳太郎家と信太周辺地域の諸相	藤井正太 日本史演習Ⅳ(担当 佐賀朝) 受講生	89	
―奥野紀代子所蔵文書の検討から―			
<b>書評</b>			
『玉手山1号墳の研究』	安村 俊史	147	
仁木宏著『京都の都市共同体と権力』	高谷 知佳	154	
天野忠幸著『戦国期三好政権の研究』	久保 健一郎	160	
塚田孝著『近世身分社会の捉え方』	ティモシー エイモス	167	
<b>新刊紹介</b>			
「熟覧」、その情熱と論理			
―栄原永遠男『万葉歌木簡を追う』―	村田 正博	174	
<b>記事</b>			
栄原永遠男先生の退任を記念して	実行委員会	178	
最終講義ならびに記念パーティー			
塚田 孝・松本啓子・鷺森浩幸・藤田道子・濱田延充・清水昭博			
遠藤慶太・竹本晃・後藤 真・桑原祐子・酒井健治・渡部陽子		181	
<b>交流の広場</b>			
大阪市立大学の難波宮「出土第一号」瓦	岸本 直文	192	
今生きている、大学で学んだこと	安部 圭助	201	
学生生活を振り返って思うこと	野々村 有紗	203	
<b>彙報</b>			
日本史研究室だより		206	
日本史研究室関係者業績一覧		213	
二〇一〇年度 博士論文・修士論文・卒業論文一覧		225	
会務報告		226	
<b>第15号 (12年5月)</b>			
<b>論文</b>			
五世紀における茅渟の王宮	古市 晃	1	
戦国期摂河泉における本願寺の地域編成について	大澤 研一	19	
信太明神社と信太郷			

—宝暦期の社僧・世家・氏子間争論—	三田 智子	43
中世後期の地域社会における地方寺社の存在形態		
—若狭国遠敷郡を事例に—	湯峯 愛	66
近世大坂天満宮の境内証人と西側茶屋仲間	屋久 健二	96
<b>和泉市合同調査報告</b>		
和泉市尾井町における総合調査	合同調査実行委員会	116
<b>史料紹介</b>		
蔭涼寺と地域社会—「山門要用留書」に見る—		
二〇一一年度日本史講読Ⅲ(塚田孝担当) 受講生 山下聡一		157
<b>書評</b>		
塚田孝編『身分的周縁の比較史—法と社会の視点から—』海原 亮		178
栄原永遠男著『日本古代銭貨研究』高橋 照彦		190
和泉市史編さん委員会編『和泉市の歴史3 地域叙述編 池田谷の歴史と開発』多和田 雅保		198
<b>交流の広場</b>		
日本滞在の間、学んだこと、考えたこと		
—大阪市立大学での経験を中心に—	スザンヌ ゲイ	208
森で迷子：海外から見た日本古代史	ブライアン ロウ	211
大学での経験と私の仕事	浅田 尚子	217
<b>彙報</b>		
日本史研究室だより		220
日本史研究室関係者業績一覧		227
二〇一一年度 修士論文・卒業論文一覧		239
会務報告		240

第16号 (13年5月)

近世・播磨加古郡新野辺村における酒造稼(出稼)の展開	羽田 真也	55
近世柳井津の醤油屋仲間と地域市場	久角 健二	81
律令制下の地方支配と律令制度		
—租税収取の実態を通じて—	茅野 優美子	100
<b>和泉市合同調査報告</b>		
和泉市和気町における歴史的総合調査	合同調査実行委員会	136
近世後期の和気村と座		
二〇一二年度日本史講読Ⅲ(塚田孝担当) 受講生・三回生有志		173
<b>書評</b>		
戦国期地域権力の視角と方法		
—村井良介『戦国大名権力構造の研究』を読む	池 享	193
清水昭博著『古代日韓造瓦技術の交流史』	亀田 修一	204
<b>新刊紹介</b>		
『河音能平著作集』	仁木 宏	208
<b>交流の広場</b>		
生活世界と歴史意識についての覚え書き	渡辺 恒一	210
人生の回り道で得たもの	藤本 誉博	213
「目線」を問いなおす	上原 光真子	215
<b>彙報</b>		
日本史研究室だより		218
日本史研究室関係者業績一覧		225
二〇一二年度 博士論文・修士論文・卒業論文一覧		239
会務報告		240

第17号 (14年5月)

<b>論文</b>		
農兵の歴史的意義—暴力の連続体への位置づけをめぐる—	デビッド ハウエル	1
帝紀とフルクト—『古事記』序文読解の試み—	下鶴 隆	12
一五世紀における淀川水系の寺院ネットワークと地域社会		
—応永一九年北野社一切経書写を手がかりに—	大村 拓生	36

<b>論文</b>		
弥生土器様式の変化の持つ意味		
—畿内第五様式の成立をめぐる—	濱田 延充	1
戦国大名分国における領主層の編成原理をめぐる	村井 良介	14
近世和泉の村落社会における飢餓と「困窮人」		
—寛政く文化期の池上村を中心に—	齊藤 絃子	40

島津氏の財政構造と豊臣政権	桐山浩一	59
<b>和泉市合同調査報告</b>		
和泉市伯太町における歴史的総合調査	合同調査実行委員会	74
近世伯太村の寺と座		
二〇一三年度日本史講読Ⅲ(塚田孝 担当) 受講生・三田智子		111
<b>書評</b>		
吉田伸之・佐賀朝編『シリーズ遊郭社会(1)(2)』	吉元 加奈美	127
塚田孝著『大坂の非人―乞食・四天王寺・転びキリシタン―』	ジョン ポーター	136
熊谷光子著『畿内・近国の旗本知行と在地代官』	塚田 孝	149
<b>新刊紹介</b>		
天野忠幸編『戦国遺文 三好氏編 第一巻』	岡田 謙一	155
仁木宏・天野忠幸監修『本興寺文書』第一巻(本興寺編)	楞野 一裕	157
<b>交流の広場</b>		
地域の現状に関する若干の私見	堀 純一郎	161
習慣は第二の天性	屋久 健二	163
地方新聞社に勤務して	大久保 光機	166
<b>彙報</b>		
日本史研究室だより		170
日本史研究室関係者業績一覧		178
二〇一三年度 修士論文・卒業論文一覧		191
会務報告		192
<b>第18号 (15年5月)</b>		
<b>講演</b>		
江戸と薪―巨大城下町の燃料エネルギー問題―	吉田 伸之	1
<b>論文</b>		
文化前代の難波―難波宮下層遺跡を中心に―	積山 洋	12
畿内の灌漑整備と行基		
―畿内郡司層に関する一試論―	磐下 徹	34
天保期における門林家一統と佐五平家		
―住吉講の活動をめぐって―	島崎 未央	50
信太山丘陵をめぐる軍隊と地域社会		
―信太山演習場解放運動を中心に―	森下 徹	72
<b>和泉市合同調査報告</b>		
和泉市若部町における歴史的総合調査	合同調査実行委員会	94
近世今在家村の座・講・寺		
齊藤紘子 二〇一四年度日本史講読Ⅲ(塚田孝 担当) 受講生		132
<b>書評</b>		
和泉市史編さん委員会編『和泉市の歴史6 和泉市の考古・古代・中世』	濱道孝尚・徳満悠・道上祥武	149
積山洋著『古代の都城と東アジア(大極殿と難波京)』	岸本 直文	159
<b>新刊紹介</b>		
田所顕平著『近代地域社会の教育願望と学校		
―和歌山県の業績教育を中心に―	飯田 直樹	166
天野忠幸著『三好長慶』	平井 上総	169
<b>交流の広場</b>		
障がい福祉行政に携わって	細川 絵美	172
アーキビスト／文化関係職員という仕事	福島 幸宏	174
市大に集い日本史を学ぶ		
うっぱ29生の回想	竹中哲之・中谷昌義	179
<b>彙報</b>		
日本史研究室だより		187
日本史研究室関係者業績一覧		193
二〇一四年度 博士論文・修士論文・卒業論文一覧		205
会務報告		206
<b>第19号 (16年5月)</b>		
<b>講演</b>		
被災史料保全から地域歴史遺産の共有へ		
―阪神・淡路大震災二〇年から考える―	奥村 弘	1
コメント 和泉市合同調査の経験を振り返る		
―市大日本史学会大会・奥村弘氏の講演を聞いて―	齊藤 紘子	7
ミニ・シンポの記録	佐賀 朝	13

論文

「楽市」再考

— 中近世移行期における歴史的意義をめぐって —

周防国柳井津の目明しと民衆世界

— 金屋卯兵衛直訴一件を通して —

近世大坂の開発と社会Ⅱ空間構造

— 道頓堀周辺を対象に —

研究ノート

戦国期能登における領主の所領形態について

— 「能登内浦村々給人注文写」の分析から —

和泉市合同調査報告

和泉市北田中町における歴史的総合調査

書評

塚田孝・佐賀朝・八木滋編

『近世身分社会の比較史』法と社会の視点から

新刊紹介

栄原永遠男著『聖武天皇と紫香楽宮』

直木孝次郎著『日本古代史と応神天皇』

仁木宏・福島克彦編『近畿の名城を歩く』

交流の広場

教学相長ずる教育現場

地方公務員として地域史にできること

市大に集い日本史を学ぶ

大阪市大文学部日本史は人生の次元をふやしてくれた

市大史学専攻一学徒の手記

彙報

日本史研究室だより

日本史研究室関係者業績一覧

二〇一五年度 修士論文・卒業論文一覧

会務報告

第20号（17年5月）

市大日本史学会20年

大阪市立大学日本史学会20周年記念特集にあたって

市大日本史学会20周年に寄せて

日本史研究室の歩み（07年度～16年度）

10年の調査研究活動

交流の広場

日本史研究室に学ぶ

『市大日本史』第11号～第20号総目次

講演

文化遺産と地域の未来

関連報告 地域住民にとって歴史・文化財とは

ミニシンポに学ぶ

論文

奈良時代写経所の空間構造—〈座席論〉の試み—

天保期堺における油市場設定と地域社会

大坂の傾城町・新町

和泉市合同調査

和泉市肥子町における歴史的総合調査

書評

栄原永遠男編『正倉院文書の歴史学・国語学的研究

— 解移牒案を読み解く —

塚田孝編『都市社会史の視点と構想—法・社会・文化—』

村井良介著『戦国大名論 暴力と法と権力』

彙報

日本史研究室だより

日本史研究室関係者業績一覧

二〇一六年度 博士論文・修士論文・卒業論文一覧

会務報告

長澤 伸樹	16	杉本 宏	67
久角 健二	46	渡辺 恒一	82
塚田 孝	65	岸本 直文	87
川名 俊	84	吉元 香奈美	119
原直史	137	渡部 陽子	88
宮武 正登	146	島崎 未央	103
亀井 駿輔	152	矢越 葉子	167
古市 晃	154	渡辺 祥子	174
岸岡 貴英	156	川岡 勉	184
石岡 知久	158		
谷口 拓	160		
森田 俊彦	163		
山崎 道哉	166		
日本史研究室だより	172		
日本史研究室関係者業績一覧	179		
二〇一五年度 修士論文・卒業論文一覧	191		
会務報告	192		
日本史研究室だより	187		
日本史研究室関係者業績一覧	193		
二〇一六年度 博士論文・修士論文・卒業論文一覧	203		
会務報告	204		

## 第21号（18年5月）

【特集】共同の営為としての歴史学―市大日本史ここ10年の歩みから― 開催趣旨	佐賀朝	1
市大考古学の営為と日本史研究	岸本直文	2
市大で古代史を学ぶ	磐下徹	10
大阪府大における中世史研究の二〇年	仁木宏	15
「歴史学の方法をめぐる断想」から二〇年 ―都市史・地域史・国際交流―	塚田孝	22
合同調査のここ一〇年と私の地域史研究 シンポジウム「共同の営為としての歴史学 ―市大日本史ここ一〇年の歩みから―」によせて	佐賀朝 村井良介	30 37
論文		
近世大坂天満宮の社家仲間と運営	屋久健二	40
小川正子の晩景―近代ハンセン病隔離政策と臨床医― 日本の近世社会の特質と史料 ―和泉市における合同調査の経験を中心に―	松岡弘之 塚田孝	54 74
和泉市合同調査報告		
和泉市万町における歴史的総合調査	合同調査実行委員会	86
書評		
中尾芳治・栄原永遠男編『難波宮と都城制』	岸本直文	131
新刊紹介		
塚田孝著『大坂 民衆の近世史 ―老いと病・生業・下層社会』	田坪賢人	139
交流の広場	山田邦和	142
奈良県王寺町での文化財の仕事	岡島永昌	146
教室のなかの「歴史学」	樋原愛	148
市大に集い日本史を学ぶ		
大阪府大日本史コースの思い出	秋山侃	151
彙報		
日本史研究室だより		156

## 第22号（19年5月）

日本史研究室関係者業績一覧		162
二〇一七年度 博士論文・修士論文・卒業論文一覧		171
会務報告		172
講演		
歴史系博物館の可能性―国立歴史民俗博物館での経験から久留島浩 二〇一八年大会の久留島浩講演と質疑について	佐賀朝	1
論文		
平安時代中・後期の唐人来着と日本海 ―越前と若狭を中心に―	酒井健治	29
近世京都の薬種屋仲間と薬種流通	渡辺祥子	47
戦国期京郊公家領荘園にみる社会変容 ―山城国久我荘における家僕と土豪をめぐる―	平生遠	62
和泉市合同調査報告		
和泉市府中町における歴史的総合調査	合同調査実行委員会	86
書評		
磐下徹著『日本古代の郡司と天皇』	蟹江友和	119
新谷和之著『戦国期六角氏権力と地域社会』	松下浩	127
長澤伸樹著『楽市楽座令の研究』	堀新	134
三田智子著『近世身分社会の村落構造 ―泉州南王子村を中心に―』	高垣亜矢	141
記事		
雲雀山古墳群と糞置遺跡の発掘資料	岸本直文	149
交流の広場		
自分の思いを信じて	関梓	155
大学編入からの一〇年をふりかえって	北嶋奈緒子	158
市大に集い日本史を学ぶ		
市大歴史学（日本史）時代の回想	田中譲	161
彙報		
日本史研究室だより		165
日本史研究室関係者業績一覧		172

	二〇一八年度 博士論文・修士論文・卒業論文一覧	181
	会務報告	182
	<b>第23号 (20年5月)</b>	
講演	大江卓と「部落解放令」―再評価の試み	1
論文	ダニエル ボツマン	
	古代畿内の集落と官衙の成立過程に関する一考察	17
	道上 祥武	
	戦国期近江三雲氏の動向―大名権力と惣国一揆の接点―	39
	新谷 和之	
	幕末期における都市大坂の御用宿	60
	呉 偉華	
	<b>和泉市合同調査報告</b>	
	和泉市観音寺町における歴史的総合調査	86
	合同調査実行委員会	
	観音寺と観音寺村に関する覚書	117
	谷口 正樹	
史料紹介	平井高好宛て杉宗長書状	122
書評	新谷 和之	
	春田直紀著『日本中世生業史論』	129
	村上 絢一	
	大澤研一著『戦国・織豊期大坂の都市史的研究』	138
	小谷 利明	
	齊藤絃子『畿内譜代藩の陣屋と幕領社会』	144
	熊谷 光子	
	塚田孝編『シリーズ三都 大坂巻』	151
	別曾 和江	
新刊紹介	『和泉市の歴史7 和泉市の近世』	158
	山下 聡一	
	直木孝次郎先生追悼のつどい	161
	栄原 永遠男	
	「直木孝次郎先生追悼のつどい」に参加して	198
	榎村 寛之	
交流の広場	逆風のなかの博物館学芸員	182
	小橋 勇介	
	国立公文書館の役割について	184
	松田 暁子	
	市大に集い日本史を学ぶ	186
	難波宮の調査と大阪市の文化財保護	195
	長山 雅一	
彙報	日本史研究室だより	195
	日本史研究室関係者業績一覧	202
	二〇一九年度 博士論文・修士論文・卒業論文一覧	211
	会務報告	212
	<b>第24号 (21年5月)</b>	
論文	写経所の施設とその変遷(上)	1
	栄原 永遠男	
	能登畠山氏の権力編成と遊佐氏	25
	川名 俊	
	近代日本における馬匹徴発と地域社会	45
	―日中戦争とアジア・太平洋戦争期を中心に―	
	松鹿 彩花	
	塚田孝先生の退任を記念して	69
	塚田孝先生の最終講義と退職記念論集の刊行	
	日本の歴史研究―大阪市の三二三年を振り返って―	73
	塚田 孝	
	熊谷光子・屋久健一・三田智子・安浪皓星・田坪賢人・八木滋・渡辺祥子・町田 哲・山下聡一	92
史料紹介	大阪府立大学所蔵の檜崎家文書の写について	107
書評	村井 良介	
	岸本直文著『倭王権と前方後円墳』	135
	青木 敬	
	五・六世紀の中央権力と地域編成をどう考えるか	143
	古市晃著『国家形成期の王宮と地域社会』	152
	―記紀・風土記の再解釈―	
	吉松 大志	
	大阪市立大学難波宮研究会編『難波宮と大化改新』	159
	塚田孝著『日本近世の都市・社会・身分』	165
	―身分的周縁をめぐって―	
	安村俊史著『大和川の歴史―土地に刻まれた記憶―』	171
	森下 徹	
交流の広場	分野のかけはし	173
	学芸員三年目にして思うこと	
	竹本 晃	
	市大に集い日本史を学ぶ	173
	文学部日本史コース卒業生・井ノ元ほか・蟹江友和・	
	徳満 悠	

## 彙報

山崎公輔・吉田芽依・谷口正樹・青井恵理香

176

日本史研究室だより

日本史研究室関係者業績一覧

二〇二〇年度 修士論文・卒業論文一覧

会務報告

186

## 第25号 (22年5月)

## 講演

シンポジウム「比較中世文書論の構築をめざして」

日欧比較中世文書研究の実践と論点

日仏比較中世文書論のために

仁木宏

高橋一樹

向井伸哉

1

## 論文

近世大坂の都市域の拡大に関する一考察

写経所の施設とその変遷(下)

大坂大工組の身分内法

近代大阪の「不良住宅地区」における健康と救療

## 研究余録

山城国槇島城と真木嶋氏

「馬借通路絵図」の作成経緯について

## 史料紹介

下笠文書(大阪市立大学蔵)

## 新刊紹介

古市晃著『倭国 古代国家への道』

酒井紀美著『人物叢書 経覚』

天野忠幸著『列島の戦国4 室町幕府分裂と畿内近国の胎動』

松本啓子著『世界を旅したマジョリカ陶器』

松岡弘之著『ハンセン病療養所と自治の歴史』

仁木宏・磐下徹編著『歴史家が案内する大阪』

井ノ元 ほか

## 記事

大阪市立大学140周年記念展示室の開室

田中ひとみ・渡部陽子

149

## 交流の広場

直木資料の大学史資料室受け入れ

渡部 陽子

155

大阪市立大学歴史学教室220

文化観光推進事業に携わって

## 市大に集い日本史を学ぶ

文学部日本史コース卒業生・原大樹・南幸希・家治清真・白石博則・阿部大誠

井上 誉

157

## 市大日本史総目次

日本史研究室だより

日本史研究室関係者業績一覧

論文一覧

会務報告

北野 智也

160

163

187

195

203

204